

第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプランに基づく事業について

市では、令和5年3月に「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」を策定し、市内産業が「革新と挑戦で、新たな価値を生み出す」ことを目指しています。下記事業は、同プランにおいて、各基本方針を定め、実行する事業です。

〈基本方針1〉チャレンジできる環境を整え、新たな価値の創出へと繋げる

〈基本方針2〉未来を切り拓く人材を育成し、事業成長を実現する

本事業については、この2つの基本方針を目標として取り組みます。

各事業の詳細は以下のとおりです。

成長戦略策定ワークショップ 参加者募集

自社の成長戦略プランを描き、事業成長へと繋げていくため、市内企業10社程度に対して、自社の成長戦略プランを策定するワークショップを開催します。ワークショップは、11月から来年3月まで、直方版経営塾の形式により、毎月1回開催し、計4回開催します。その後、作成した成長戦略プランの発表会を実施するため、合計5回の構成で開催します。

- 対象：市内事業者
- とき：11月から月1回
- ところ：直鞍産業振興センター ADOX福岡別館
- 参加料：無料
- 定員：10社程度
- 申込期限：11月13日（月）

直方市専門家派遣補助金 直方市副業・兼業人材活用支援補助金

企業が自社の成長戦略を描く上で直面する経営的課題に対して、企業のニーズに応じて、解決をサポートする専門家を派遣、あるいは副業・兼業人材を活用し、課題解決をサポートして、企業の事業成長へと繋がります。

専門家派遣補助金については「独立行政法人中小企業基盤整備機構」が実施するハンズオン支援事業を活用して、派遣された専門家に対する事業者負担額の2分の1の金額を上限額20万円まで、副業・兼業人材活用支援補助金については「福岡県プロフェッショナル人材戦略拠点」を通じて、マッチングを行った人材に対する事業者負担額の2分の1の金額を、同じく上限額20万円まで、補助を行います。

- 対象：市内に事業所を有する中小企業
- 定員：3社程度
- 申込期間：11月1日から随時

問い合わせ

商工観光課工業振興係

TEL:25-2159

第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプランの全文は、
直方市ホームページから電子データ(PDF)でご覧いただけます。





アクティオとの

レンタル協定

9月20日、市は(株)アクティオと災害時におけるレンタル機材供給に関する協定を結びました。(株)アクティオ九州支店中島英敏西日本支社副支社長は「市民の皆さんの安全・安心に貢献できたと思っています」と語りました。大塚市長は「災害時、少しでも市民の皆さんの安全を高められるよう力を貸していただきたい。これからよろしくお願いします」と話しました。



感田小学校に

地名の成り立ちを

描いた絵画を寄贈



9月27日、感田小学校に地名の成り立ちを描いた絵画が寄贈されました。作者の松本久雄さんは「校舎を訪れた時、雁が飛んでいる校章を発見し、子ども達に少しでもふるさとのことを知ってもらいたいと考え、地名の成り立ちをテーマにした絵を描きました。感田の名称の由来は昔、この地に沢山の雁が渡って来ていたことから生まれ地名です。そして感田には沼や海辺があったことから、牟田(沼)や浦(海辺)がつく地名が多

くあります。牟田と浦を描き、雁はこれから活躍していく子ども達を、校章は子ども達を後押しする日の出をイメージして描きました」と説明しました。感田小学校の下元操校長は「素晴らしい絵画がありがとうございます。こども達の今後の教育に活用させていただきます」と語りました。

市庁舎で

ブルーライトアップ

9月23日、市庁舎玄関口で手話国際言語デーに合わせ、ブルーライトを点灯しました。今年のテーマは「世界中のろう者が、どこでも手話言語でコミュニケーションできる社会へ」です。

市は平成29年4月に直方市手話言語条例を制定しました。同年12月、国連総会で決議された決議文では、「手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国すべてにおいて手話言語についての意識

を高める手段を講じることを促進する」としています。

直方市聴覚障害者協会の篠原耕二会長は「多くの人に、『手話は言語である』という理解を深めていただきたい。ろう者が生活のあらゆる場面で手話を使って安心して暮らせる社会になるため、多くの人に手話を知っていただきたい。ろう者と聞こえる人が共存できる社会の実現を目指すため取り組みを推進していきます」と挨拶しました。

